

## 令和8年度 第1回米子市図書館協議会・会議概要

- 日時 令和8年5月29日（金） 午前10時から午前11時35分まで
- 場所 米子市立図書館 研修室1、2（2階）
- 出席者 委員  
渡邊真子（会長）、頼田敬子、亀井智子、大江忍、金本由香、小原葉子、  
上田京子、三瓶まり  
事務局  
（米子市立図書館）永瀬館長、（一財）米子市文化財団 佐藤図書課長  
（米子市教育委員会）田中生涯学習課長、松永生涯学習課課長補佐、  
新見生涯学習課主任
- 欠席者 2名（上村一也、隠樹佐与志）
- 傍聴者 なし
- 報道関係 なし

### 【協議会の概要】

#### 1 開 会

#### 2 会長あいさつ

#### 3 議事

##### （1）令和7年度事業報告及び決算について

《事務局説明》

下記の内容について資料に基づいて説明。

ア 図書館の利用状況[資料1-1～資料1-7]

イ 図書館の実施事業等[資料2-1]

ウ 職員研修実績[資料3-1]

エ 図書館費決算明細書[資料4-1・資料4-2]

《委員質疑・意見》

- （委員）学校図書館の貸出冊数（団体）は小中学校のみで、高校は入っていないのか。

⇒（事務局）

小学校への長期貸出と、小中学校からのリクエスト貸出をカウントしている。長期貸出の冊数はあまり変動しないので、リクエスト貸出の増減が変動の主要因。高校への配本は行っていないので、カウントしていない。

（※高校への団体貸出分は、全体の貸出冊数にカウントしている。）

- （委員）高校でも、県立図書館にない本を米子市立図書館にお世話になることはあるので、共有させていただきたい。

- （委員）子ども向けの事業がいくつもあり、どれも人気があると認識しているが、今後も継続する予定か。
  - ⇒（事務局）

人気のある、ニーズのある事業は継続していく方向だが、全く同じやり方で続けるということではない。事業のやり方も含めて、多様性を持たせていくことを意識していきたい。
- （委員）ふるさと米子探検隊を読ませていただき、良い出来だと感じた。やはり地域の歴史を振り返ることは大切。また、展示と連動させていたことも良く、さらに美術館や山陰歴史館とも連携していることに感心した。
- （委員）米子市立図書館へいこうキャンペーンで配布している子ども向けの「しおり」の反応はどうか。珍しいもの、米子ならではのデザインのしおりを作ってみるのも良いかもしれない。
  - ⇒（事務局）

しおりは季節感も出しながら司書で工夫して作っている。図書館のカウンターで子どもに選んでもらい、喜ばれている。
- （委員）事業の広報はどのように行っているか聞きたい。
  - ⇒（事務局）

米子市立図書館ホームページでの広報や館内でのポスター、チラシ設置は、世代・ジャンルを問わずに行っている。子ども向けであれば、チラシを学校経由で配布している。（※令和8年度からはチラシを電子配信している。）

大人向けの広報については課題と認識しており、街中のデジタルサイネージを利用するなど、検討の余地があるかもしれない。
- （委員）小中学校向けには今年度から保護者連絡アプリ「スクリレ」が導入され、保護者に直接チラシなどの情報を届けられるようになった。地域の民生委員なども登録しているので、広報活動にはプラスになると感じている。
  - ⇒（事務局）

スクリレについては市立図書館でも使用し、事業の案内を出している。
- （委員）スクリレは便利な反面、まとめて受信するため情報が埋もれてしまったり、ほぼ見ないという保護者の声も聞こえてくる。イベントのチラシはいったん子どもの手に届くことに価値があったと思うので、検証してみたい。インスタグラムももっとうまく活用できると感じる。
  - ⇒（事務局）

インスタグラムは配信しているが、正直、司書の手が回っていないといったところ。有効に活用できるように考えてみたい。
- （委員）図書館の研修室などのスペースを、いろいろな用途での打合せの場として活用できないか。
  - ⇒（事務局）

図書館施設の利用については、市民の教養のためのイベント等を優先することが条例で決まっている。その他例外として、子どもたちの自習・勉強のために開放するというを行っている。他市町村の新しい図書館は複合施設の中に設置されることが多く、様々な用途での利用が想定されているが、米子の場合は図書館専用施設の位置づけから変わっていない。

- （委員）利用者証の登録率について、他市町村との比較で100%前後のところもあるが、取組など参考にできないか。

⇒（事務局）

県内で100%近い倉吉市に聞いてみたが、特別なことはしていないとのこと。周辺からの登録が多かったり、複合施設で便利な立地にあることも影響しているかもしれない。（※登録率の計算は、分母が図書館を設置する市町村の住民の数であることに對し、分子である登録者には近隣市町村の住民の登録者も含まれる。）

- （委員）11月に開催している「図書館まつり」をもっと有効に活用できないか。古本市を目当てに来場される方が多いが、これらの方々からのアンケート回収数を向上させることや、任意の募金箱を設置するなどはどうか。

⇒（事務局）

他館の取組なども参考にしながら、できることを検討してみたい。

- （委員）児童書の貸出が減っているが、ITの影響もあると思う。今は自動音声で絵本を子どもに読んでくれるサービスがあり、そうじゃないでしょうと思うが、そういう時代になっていることも事実である。
- （委員）「図書館まつり」で図書館のインスタのフォローをしてもらっただけでも、図書館のことをたまに思い出してもらっただけでも、きっかけになると思う。
- （委員）PTA連合会の研修で脳科学の先生に講演をしてもらったが、紙でめくって辞書で調べるのとスマホで調べるのでは脳への定着率が全然違ったり、絵本の読み聞かせはお母さんが読んでくれるからいい、ということと言われるので、保護者にもっと知ってもらいたい。

⇒（事務局）

具体的な意見を提案してもらえると検討しやすく助かる。みなさんの意見を元に、我々でできることを考えていきたい。

## （2）令和8年度事業計画及び予算について

《事務局説明》

下記の内容について資料に基づいて説明。

ア 事業計画（運営方針・実現するための施策・主要事業等）[資料5-1]

イ 図書館費予算明細書[資料6-1～資料6-3]

《委員質疑・意見》特になし

## （3）その他

《事務局説明》

下記の内容について資料に基づいて説明。

ア 米子市図書館協議会の組織の見直しについて[参考資料]

イ その他[図書館事業等のチラシなど]

《委員質疑・意見》特になし

#### **4 閉 会**